

# 京都府漁海況情報

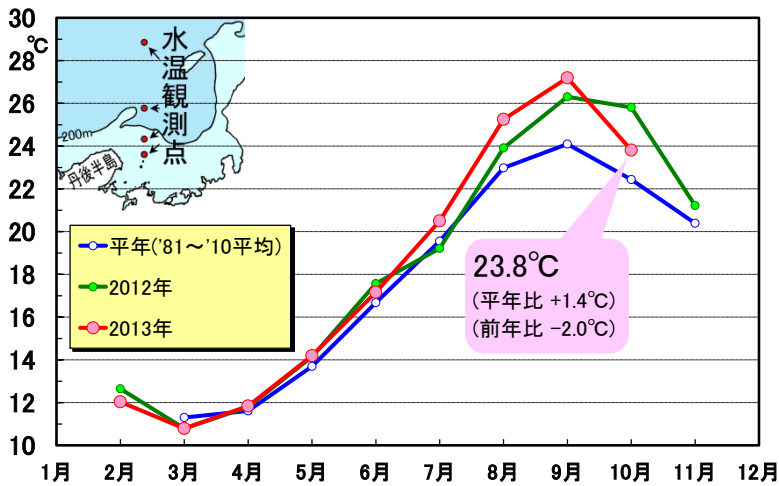
## 海の状況

京都府農林水産技術センター海洋センター 海洋調査部  
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>  
 電話：0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

### 【現況】

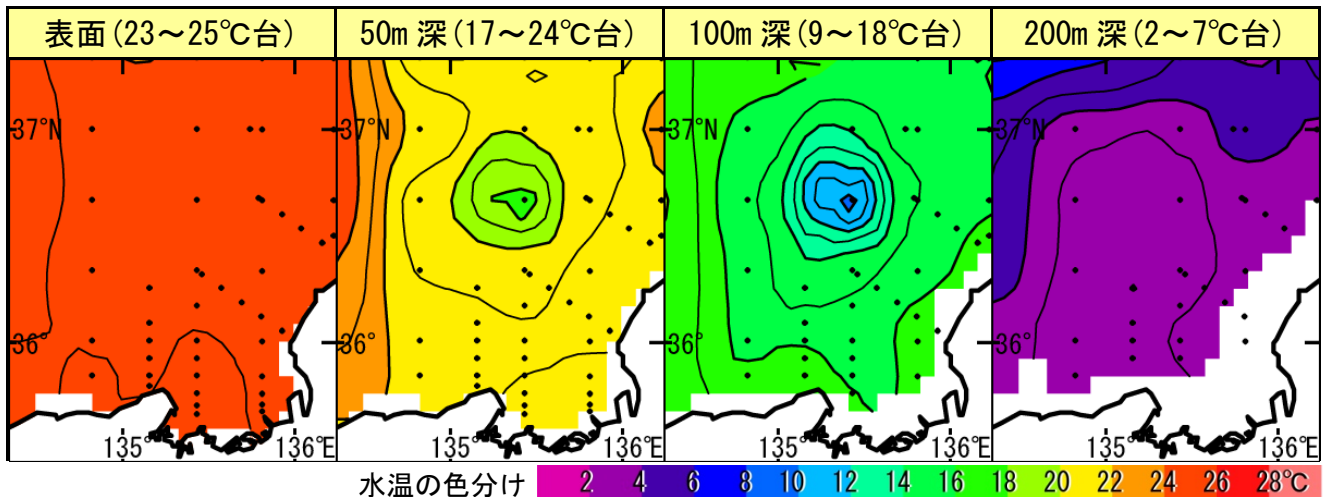
10月上旬における京都府周辺の表層水温は、前年および平年より高めで推移しました。

京都府沖の表層水温(0~50m 深平均)



京都府周辺の各層水温(2013年10月上旬)

資料元：(独)日本海区水産研究所



### 【今後の見込み】

資料元：気象庁, (独)日本海区水産研究所

向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	「平年より高め~平年並み」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	「平年より強め~平年並み」で推移する見込み
沖合からの冷水域の張り出し*	「弱め」で推移する見込み

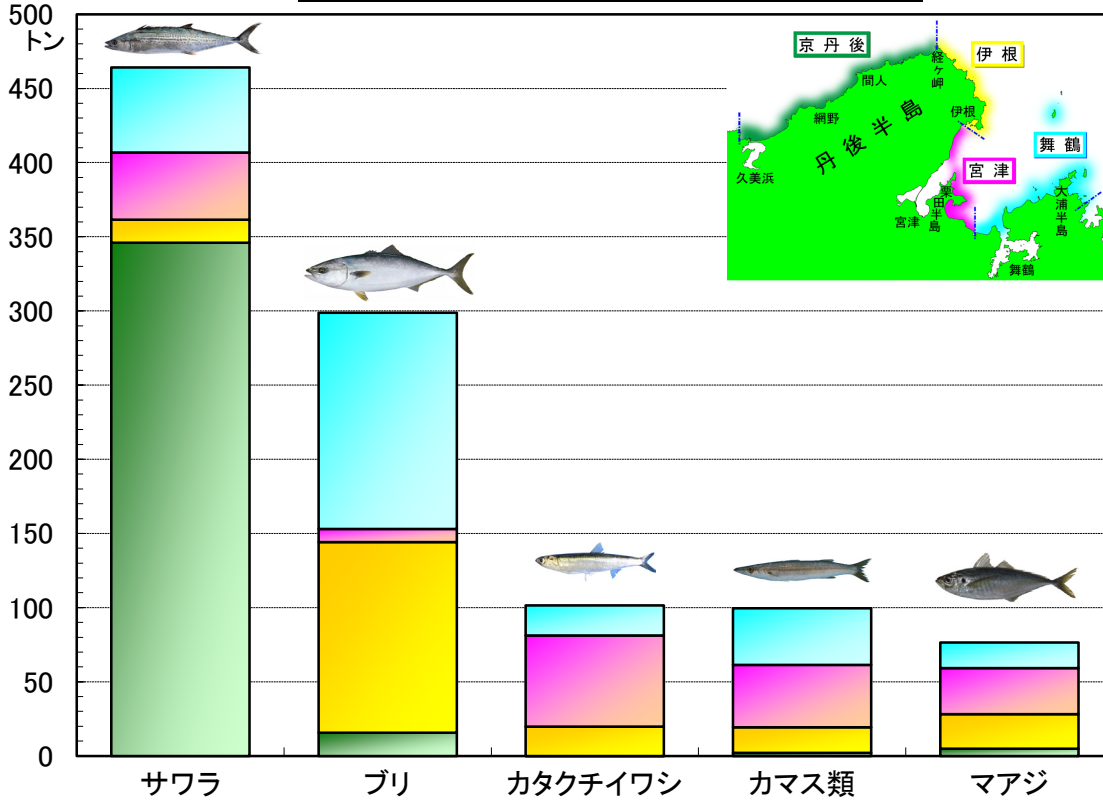
\*冷水域の張り出しが強いと、対馬暖流域に生息するブリなどの浮魚類が沿岸に来遊しやすと考えられています

# 漁模様 ～2013年9月～

## 【定置網漁業】

サワラ(さごし)やブリ(つばす)が好漁でした。全体の水揚量は、平年の1.4倍および前年の1.6倍でした。

2013年9月の地域別漁獲量(上位5魚種)

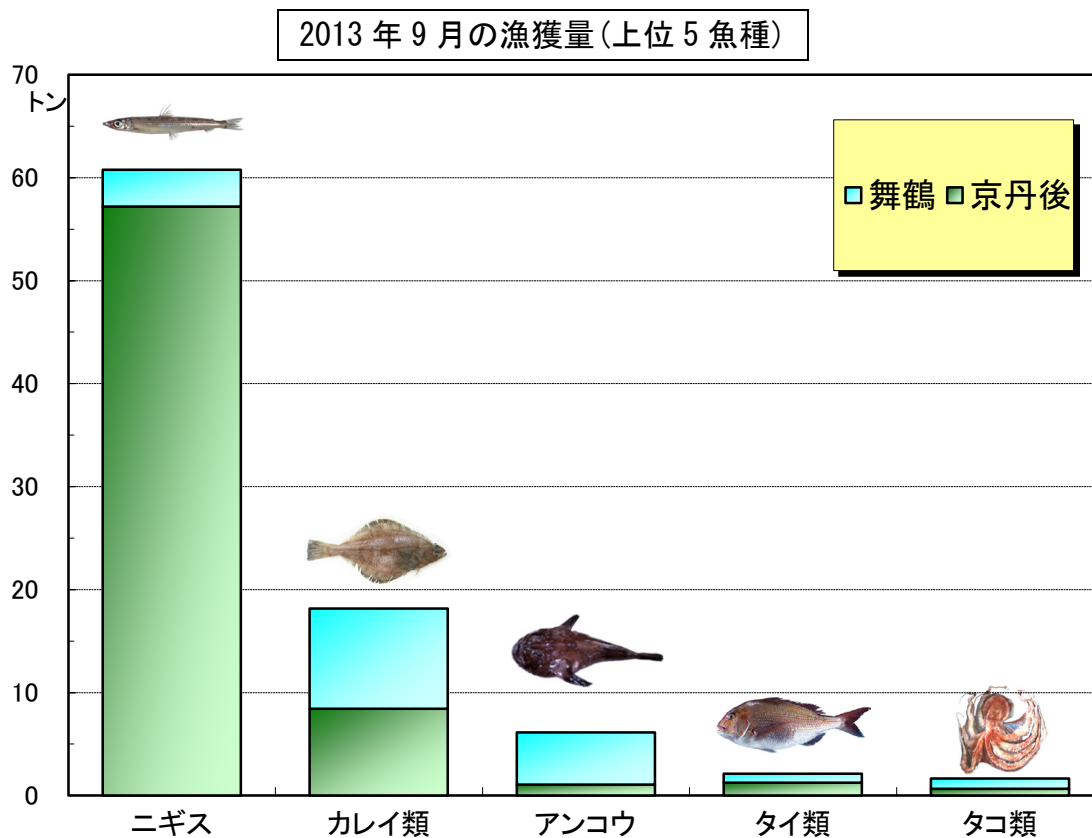


9月漁獲量(トン) 京都府漁業協同組合集計					
魚種	2013年	2012年(前年比)	平年(平年比)		備考
サワラ	464.2	377.0 (123%)	290.1	(160%)	<サワラ> さごし銘柄(尾さ長 27cm～43cm 台)が9割以上で、残りがさわら銘柄(尾さ長 60cm～70cm 主体)でした。
ブリ	298.7	43.3 (690%)	117.4	(255%)	
カタクチイワシ <small>(たれ)</small>	101.4	45.7 (222%)	101.2	(100%)	
カマス類	99.6	87.6 (114%)	36.9	(270%)	
マアジ	76.4	34.4 (222%)	177.5	(43%)	
サバ類	52.6	—	10.7	(493%)	ほとんどがつばす銘柄(尾さ長 26cm～37cm 級)で、はまち銘柄とまるご銘柄が若干量でした。
イカ類	38.7	30.4 (127%)	22.1	(176%)	<カタクチイワシ> 小たれ銘柄(体長 4～8cm 台)が漁獲の主体でした。
シロサバフグ <small>(さんきゅう)</small>	38.2	16.9 (225%)	22.9	(166%)	<イカ類> アオリイカ(秋いか)が 30.2 トン、ケンサキイカ(白いか)が 5.0 トンなどでした。
カワハギ <small>(丸はぎ)</small>	33.3	1.3 (2570%)	3.9	(862%)	
シイラ	25.8	141.5 (18%)	73.5	(35%)	
その他	123.1	67.5 (182%)	100.3	(123%)	
合計	1351.9	845.6 (160%)	956.3	(141%)	

平年は過去10年平均

## 【底曳網漁業】

6月～8月の休漁を経て9月から秋漁期が始まりました。全体の水揚量は、平年および前年の約9割でした。

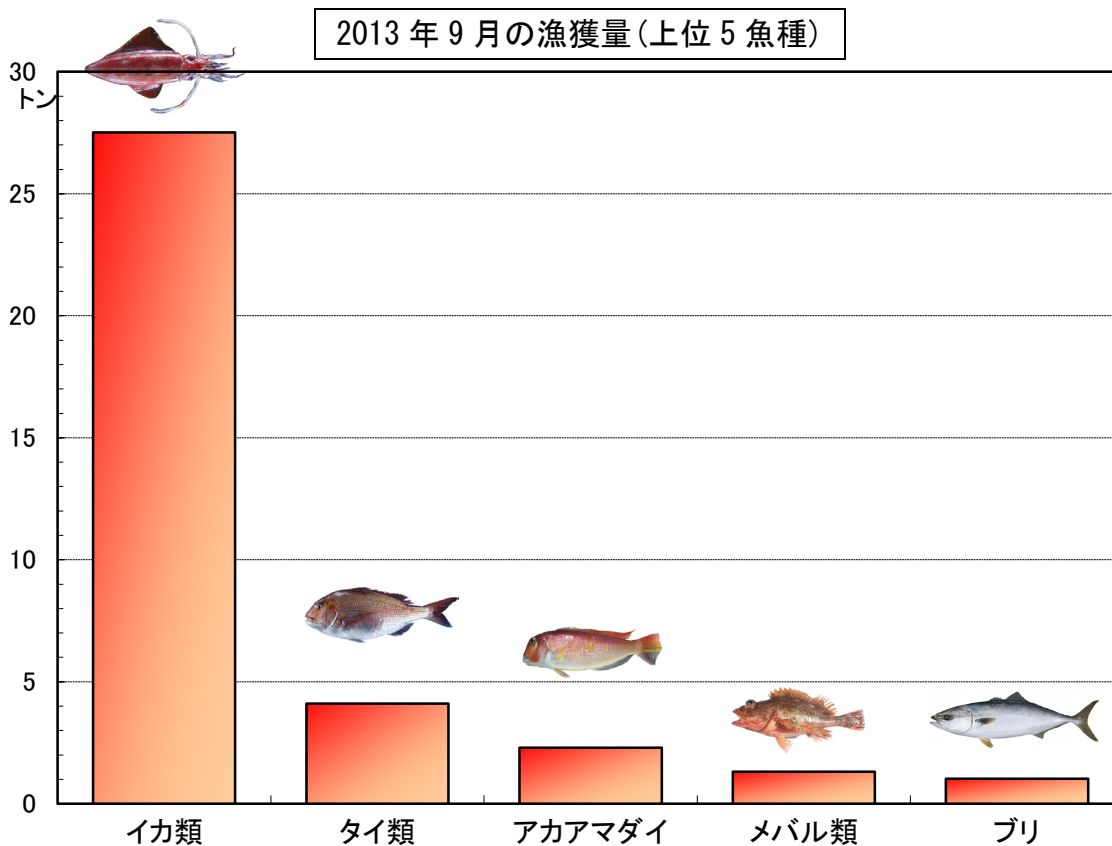


9月漁獲量(トン) 京都府漁業協同組合集計				
魚種	2013年	2012年(前年比)	平年(平年比)	備考
ニギス(沖きす)	60.8	59.9 (101%)	54.8 (111%)	<カレイ類> ソウハチ(えてがれい)が7.0トン、ササガレイ(ヤナギムシガレイ)とアカガレイ(まがれい)が3.7トンずつ、水がれい(ムシガレイ)が3.2トンなどでした。
カレイ類	18.2	18.6 (98%)	22.1 (82%)	
アンコウ	6.1	18.1 (34%)	12.1 (51%)	
タイ類	2.1	2.2 (97%)	2.4 (90%)	
タコ類	1.7	1.7 (97%)	2.2 (74%)	
イカ類	1.1	2.3 (49%)	2.6 (43%)	
マトウダイ類(ぼと)	1.1	0.9 (123%)	1.1 (96%)	
エビ類	1.0	0.3 (319%)	0.3 (352%)	
タラ類	0.7	0.5 (129%)	0.1 (662%)	
メバル類	0.3	0.7 (49%)	0.4 (77%)	
その他	4.3	6.8 (63%)	7.6 (57%)	
合計	97.4	112.0 (87%)	105.8 (92%)	

平年は過去10年平均

## 【釣り・はえなわ漁業】

全体の水揚量は、前年の7割および平年の8割でした。



9月漁獲量(トン) 京都府漁業協同組合集計				
魚種	2013年	2012年(前年比)	平年(平年比)	備考
イカ類	27.5	22.4 (123%)	9.3 (295%)	<イカ類> ソデイカ(たるいか)が 26.3 トン、アオリイカ(秋いか)が 0.8 トン、ケンサキイカ(白いか)が 0.3 トン、スルメイカが 0.2 トンなどでした。 <タイ類> マダイが約 6 割、キダイ(レンコダイ)が 3 割強、クロダイとチダイが若干量でした。 <アカアマダイ> 体長 17cm~39cm 台で、漁獲の主体は体長 25~30cm でした。
タイ類	4.1	4.9 (85%)	4.3 (95%)	
アカアマダイ(ぐじ)	2.3	2.9 (78%)	2.9 (78%)	
メバル類(もいお)	1.3	0.6 (210%)	0.7 (197%)	
ブリ	1.0	0.2 (448%)	1.3 (76%)	
ヒラマサ	0.4	—	—	
ウマヅラハギ(長はぎ)	0.3	0.8 (44%)	1.4 (24%)	
マアジ	0.2	0.2 (99%)	0.4 (61%)	
メジナ(つかや)	0.2	—	—	
カワハギ(丸はぎ)	0.2	—	0.2 (100%)	
その他	1.2	1.6 (73%)	2.9 (42%)	
合計	38.8	33.8 (115%)	23.5 (165%)	

平年は過去 10 年平均

## 【トピック ～ズワイガニと寒ブリ～】

丹後の冬の味覚，ズワイガニと寒ブリの今シーズンの資源状況(推定)です。

### <ズワイガニ>

漁の解禁を11月6日にひかえ，漁期前に海洋調査船「平安丸」でカニ籠による丹後沖のズワイガニ資源調査を行いました(写真)。今年の採捕状況は，過去5年平均に比べると，雄ガニ(甲幅9cm以上)が96%，雌ガニ(こっぺ)が122%でした。

京都府のズワイガニ漁では，資源管理のために水がに漁獲禁止に取り組んでいます。



### <寒ブリ>

今冬の水揚げの中心になるとみられる2010年産まれの3歳魚(体重10kg前後)や2011年産まれの2歳魚(体重6kg前後)の資源量は多いようです(水産総合研究センター調べ)。

12月までの日本海沿岸(対馬暖流域)の表層水温はやや高め，山陰若狭沖からの冷水域の張り出しは弱めで推移する見込みです(日本海区水産研究所調べ)。予想通りの海況となると，大型ブリの南下のピークがやや遅れたり，回遊が沖に分散したりするかもしれません。



よって，海況は寒ブリの定置漁場への来遊に有利に作用しない可能性があります。ただし，資源状況は良さそうなので，今年度下半期の大型ブリの定置網漁獲量は近年並み\*と予想します。各浜での豊漁を期待しております。

※過去10年平均：109トン